

神戸に秋がやってきました。ポーポキはコスモスの花のおだやかな色が好きです。あなたの周りにも素敵な花はありますか？



Popoki's Hot News!

ポーポキのピース・ブック3！

ポーポキのピース・ブックシリーズの3冊目、
『ポーポキ、元気って、なに色?』ができました！
お近くの本屋さん、出版社エピック
(<https://bookway.jp/epic/>)、神戸 YMCA、ポーポキ・ピース・プロジェクトから入手できます。ご注文、およびご感想をお待ちしています。



「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちのすざんかにゃんから届いた平和。
「…いや、いや、もういやぁ〜と思う時もありますよね。
でも、やり切ったところで〜よかった！と喜びが100倍です*¥(´o`)/*」
よろしくお願いします*」
あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。
ポーポキのメール ronniandpopoki (at) gmail.com !



新しい動画ができました！

ぼくの新しい動画をURLかFBでぜひ観てくださいね！

URL: <http://popoki.cruisejapan.com/videos.html>



いつもご協力、ありがとうございます！

『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』（エピック 2012）はお陰様で好評です。ぜひ広めていただきたいです！

*神戸 YMCA でも販売していますよ！ 本については、
<http://popoki.cruisejapan.com/monogatari.html> をご参照ください。



ポーポキ at 国際理解教育セミナー



8月5日に、ポーポキがJICA 関西で開催された「第11回 多文化共生のための国際理解教育・開発教育セミナー」の一コマ、「ねこのポーポキと一緒に平和をつくりましょう」を担当しました。約20名の参加者と一緒に話したり絵を描いたりして、楽しい時間を過ごしました。参加者からは高い評価を得ることができました。

*参加者評価アンケートより

①	とても参考になった	8
②	参考になった	8
③	あまり参考にならなかった	0
④	全く参考にならなかった	0
5	無回答	4
回答数		20

参加者はアンケートに以下のコメントをしました。

(参加者アンケートより)

「とても参考になった」と評価した人より

- ・言葉と絵では想像できるイメージが違うことに驚いたから。
- ・ワークショップの小道具が多様な考えを引き出す役目を果たしていた。特にロープ。
「今、日本は平和だと思いますか？」という質問に対して YES と NO の間に人が並んでいました。
- ・いろんな角度から考えることが大切だという視点が持てた。
- ・先生がユーモアで楽しみながら平和について学ぶことができた。
- ・じっくりとグループワークを疑似体験する機会をもらったのでとてもよかった。
- ・平和に、平和について話し合えた素敵なお時間でした。

「参考になった」と評価した人より

- ・絵を見たり書いたりして絵の中で自分の意見を言えた。
- ・初めて本を使った WS や平和を大にしてああってとても楽しかった。新鮮でした。
- ・言葉から考えることと、絵にすることの2つのプロセスが大事だということが学べたから。新しい考え方が身についた。
- ・平和について考える機会となった。
- ・ポーポキを通していろんなことを考えられたから。

参考について無回答だった人より

- ・平和教育の参考になった。日本の豊かさを子供たちに伝えたい。



ポーポキ at 豊中市立第十四中学校

ろにゃん・さとにゃん



8月26日にポーポキは豊中市立第十四中学校の教職員を対象にセクシュアルティについてのワークショップをしました。参加者はとても熱心で予定されていた時間があっという間に経ちました。

「セクシュアルマイノリティの生徒がいたら、しんどいだろうなあ」と考える先生がワークショップを依頼してきました。ワークの中で、物理的な環境改善(トイレなど)、個人の人権を守るためのルールや秩序作り以外にも信頼関係を築く必要性も指摘され

た。ポーポキは、教職員がセクシュアルマイノリティの生徒をサポートしたい気持ちに感動しました。今後も交流をつづけたいですね。



(写真：さとにゃん)



ポーポキ at World Women's Cafe

ろにゃん

9月7日(日)のふくしまフォーラム「World Women's Cafe」は、EIWAN 福島移住女性支援ネットワーク主催で開催されました。ポーポキは、約70名の参加者と一緒に映画「HAFU」を観て、第二部のカフェ&トークに参加しました。

映画は、日本社会の多様性を考えるのにとっても良い問題提起となりました。後半部分では、韓国、中国、フィリピン、タイからの女性たちが手料理をつくり、それを食べながらグループにわかれて話し合いました。多岐にわたる内容でしたが、異なるバックグラウンドを持つ移住女性が情報を交換し、現状を話し合い、より暮らしやすい地域社会づくりについて熱心に語りました。出身国や言語を越えて話し合うことができたのは特に良かったです。またぜひこういうフォーラムに参加したい！EIWANのみなさん、ありがとうございました！

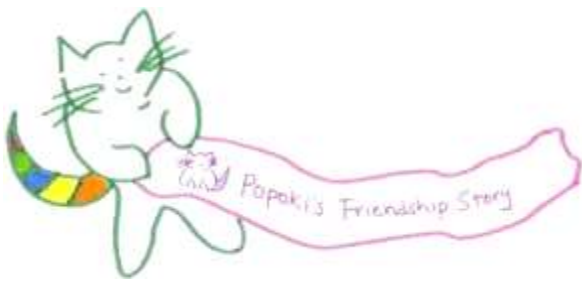


(写真 前田圭子)



(右の写真：朝の散歩中に福島市内で出会ったにゃんこ)





* ポーポキのインタビュー *

被曝問題を考える～荒木田岳先生の講演から～

もりにゃん

2014年9月11日、9月14日は、ひとつの節目といえる日である。さて、みなさんは何の節目かわかりだろうか？11日は、東日本大震災から3年半。14日は、日本で原発稼働ゼロ1周年、である。

世間一般では震災の話や原発の話は影を潜め、知らされる情報も少なくなっているのが現状である。原発問題は、というと一切解決に向かっていないが、行政は福島への帰還を勧める方針を打ち出したり、川内原発の再稼働に着手しようとしていたりしている。一般的にも、原発なしで1年を迎えたことはそれほど知られていない。震災や原発問題の情報が限られているなかにおいて、中でも、自主避難者への理解は震災発生当初から乏しく、国からの支援もないままに、3年半を迎えている。

こうした状況を憂慮し、わたしが所属する神戸大学では「ふくしまの現状を見つめる KOBE ウィーク」と題して、保養キャンプ実施団体の話や県外避難者の状況を知る機会を設けた。全3回開催され、最終回には福島大学の荒木田岳先生にご講演頂いた。荒木田先生ご自身も、ご家族を県外へ母子避難させ、ご自身は福島に残り、平日は別居生活、週末は家族の住む家へ往復するという生活を、もう、3年以上も続けている福島第一原発事故被害の「当事者」である。



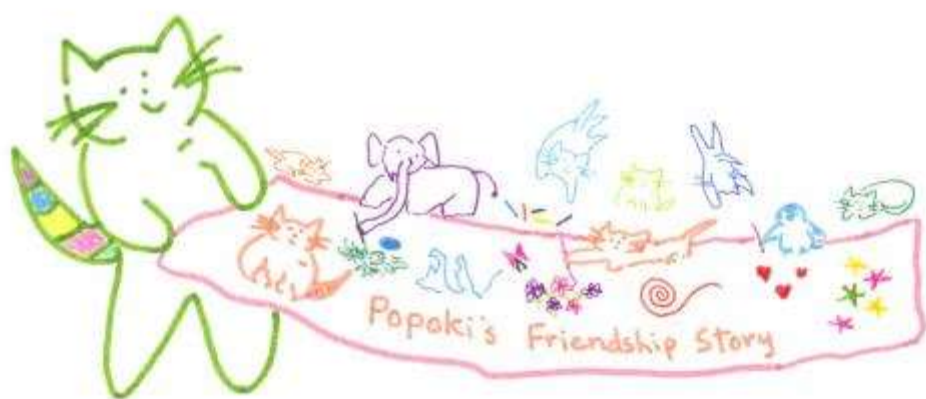
福島に住んでいる人も、決して今のままでいいと思って住んでいる人ばかりではない。今からでも避難したいと考えながら生活をしている家族もいる。別居生活をし続けている家族の状況を、「お父さん問題」と表現している。つまり、お父さんが仕事を変えられるか、ということにある。また、一番困るのが食生活だそう。ほとんどが、福島産のものが並び、まず食材を選べない。また、別居生活による食生活の乱れによって、健康を害していることにも触れた。別居生活を強いられ

ているご家族は、日々の疲労とともに体力的・精神的限界を迎えつつある。荒木田先生も、「お父さんは、ずっと走り続けている」という現状を説明してくれた。

荒木田先生の講演では、「脱被曝」に向けて、理解し行動するためのお話であった。被災地である福島県の国立大学において、放射線量の指摘を発信し続ける荒木田先生は、職場での無理解と味方がいない状況である。先生は、政府が線量の安全基準値を変更したことを糾弾している。なぜなら、このために「避けられた『被曝』」があったと考えるからだ。震災以前は、管理区域扱いとなる線量が住居可能となっているわけだ。政府の政策による避けら

れた被曝の実態については、街中に設置された線量計についても指摘がなされた。線量計が地表8メートルの地点で測定がされている事例をあげ、線量が高い地表近くでの測定がなされていないことを指摘されていた。また、除染された場所に設置されていることも説明があった。つまり、低い線量がやすい測定条件ということだ。また、事故直後に情報公開の遅れについて、ご自身の被災直後の状況も交えながらお話をくださった。SPEEDIは、事故後2時間以内に作動しているにもかかわらず、すぐに公開されることはなかった。同様に、福島県庁による線量測定も行われていたが、その情報が公開され、避難指示とはならなかった。先生の体験によると、直後の避難中の情報では、「福島原発は、安全に停止しました。」とラジオで伝えていた。原発の爆発を知ったのも、5時間後くらいで、妻からの連絡が来るまで知らなかった。わたしたちは、避けられた被曝への政府や行政の責任を追及することなく、世間は「がんばれ！福島」という言葉でまとめられてしまっている。

さて、これらの問題は福島だけの問題だろうか？答えは、もちろんNOである。脱被曝は、日常の線量ばかりが問題ではない。たとえば、「食べて応援」という言葉や、旅行して応援というのもある。風評被害を恐れた産地偽装、外食産業では使われている食材は不明である。これらについては、人々の意見はまちまちである。「支援」という言葉で、あらゆる問題は隠されてしまっている。わたしたちは、どこにいても被曝という問題をもはや無視することはできないのである。最後に、荒木田先生は、フクシマの問題とするのではなく、被災地と連携した脱被曝への動きが必要だ、とメッセージをくださった。



ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 76

今月のテーマは、ペロのストレッチです！



1. いっものように、背筋を伸ばし、自分を細く見せながらちゃんと座りましょう。
2. まず、思い切りベロを出して「べええええええええええええええええ！」
3. 次に、出したベロを左右に動かしてみましょう。両方のほったへストretch！
4. 最後は、上下ですね。お鼻の方までstretch！ 顎の方でもstretch！
5. できましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！

お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてボガを最低3分間練習しましょうね。

ご一緒にいかが？

次回のポ一会 10月5日 兵庫医療大学地域連携室 16:30~

次々回のポ一会 11月11日 神戸YMCA専門学校(新神戸OPA2階) 19:00~20:30

10.5 平和と健康のワークショップ 兵庫医療大学地域連携室 14:00～16:00

くわしくは(次ページを参照)

12月末 ポ一年会

2015年1月17日 ポーポキ at 阪神淡路大震災展(予定)

2015年2月・3月 ポーポキのミニ平和映画祭(予定)

2015年2月26日～3月2日 ポーポキin大槌町(予定)

ポーポキの友だちからの知らせ

アフガニスタン産レーズンの輸入販売 (CODE)

*ぶどう畑再生支援プロジェクトにより、ぶどうの収穫量はみるみる増加しました。日本の皆さまにもこれをぜひ召し上がっていただきたい、もっとアフガニスタンのことを知っていただきたいという思いから、ミールバチャコットの農家がつくったレーズンを輸入し、熊本市の（特活）日本フェアトレード委員会のご協力で製品化・販売しています。収穫したぶどうを天日干しにした自然のままのやさしい甘みが好評です。経費を除いた収益はアフガニスタン支援に使わせていただきます。ご家庭用はもちろん、ギフトにもぜひお求め下さい。委託販売も受け付けています。

※詳しくは <http://code-jp.org/afghanistan/index.html>

兵庫医療大学 地域交流プロジェクト

Hyogo University of Health Sciences Community Outreach Project

健康って、なに色？

ポーポキ・ピース・ネットワーク



What color is Health?

Popoki Peace Network

あなたも 平和のねこと一緒に
健康と平和について
感じたり、考えたりしませんか？

**Won't you join the peace cat Popoki to
think about and feel peace?**

平和って何だろう？健康って何だろう？

普段何気なく聞いたり見たり感じたりしていること。

ねこのポーポキと一緒に平和や健康の観点から暮らしを見直してみませんか？

今回は防災にも焦点を当てるよ！きっと新しい発見が！！



スケジュール Schedule

13:30 受付 **Registration**

14:00 「ポガ」タイム ※ポガ：ポーポキのヨガ **Poga**

14:05 ワークショップ①「ポーポキ、健康って、なに色？」

WS1*

14:30 散策して平和と健康を探そう **Walk outside** *雨天は
室内で決行

15:10 ワークショップ②「平和で健康な街づくり 防災
編」 **WS2**

15:50 まとめ、発表 **Conclusion & Presentations**

16:00 解散 **End** *WS1-peace&health, WS2- peace, health,



日時 2014年10月5日（日曜日） **Sunday, 5 October 14:00-16:00**

14:00～16:00 **HUHS community outreach center**

場所 兵庫医療大学 地域連携実践センター **HU**

対象 どなたでも参加できます。

定員 30名 **All welcome; max: 30**

会費 100円 **fee: ¥100**

申込方法 FAX（裏面）にてお申し込み下さい。

問合せ先 兵庫医療大学 地域連携実践センター **register by fax; phone
below**

電話 080-6204-8793（受付時間：平日9時半
～16時）

担当者 兵庫医療大学薬学部 桂木聡子



Popoki in the News

ポーポキ通信のバックナンバー: <http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

- 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ! <http://www.interpeople.or.jp>
- 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』(貝原加奈 2014.4.25 28面)
- 「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』(2013.8.23 朝刊 地域経済 8面)
- 「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』(2013.8.7 朝刊 22面)
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひとと抄」『読売新聞』(2013.2.16 夕刊 4面)
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から」、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』2012.10.29 (「今、平和を語る」、夕刊、1面)
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に 9 条がある」NO : 66 2012 年 5 月 12 日[子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60 メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21 (兵庫・29面)
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』 2012.1.19 (伝える 1・17 3・11、22面)
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peace? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing”(Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Dementia”, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 『「ポーポキ、平和って、なに色？」の背後にあるもの」(連載) とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑤(パレスチナについて)『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる！」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色？ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第 2 号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャレンジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なに色？』『私のいち押し』 奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カテイング・エッジ」第 35 号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック 2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第 2 弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色？」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色？」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか？」RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ!!! プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組をクリック。番組 CH の 6CH をクリック。
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは？」Kumamoto YMCA News 10 Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全 30 条 イラストで表現 地元ゆかり 6 名がパネル制作」2008.10.8. 10 面





私にとってのポーポキ

やすにゃん

去年の7月に、私の娘の通っている学校に、ポーポキのお友達スザンカにゃんが「英語で遊ぼう！」という授業で教えに来ていました。その時、私も娘に会いに学校に来ていて、授業の参加をさせてもらいました。それがきっかけで、スザンカにゃんに出会い、お友達になりました。

ある日、スザンカにゃんは「やすにゃんにプレゼントがあります！こちらどうぞ。」「え？何ですか...ポ...ポーポキ、元気ってなに色？可愛い本だね！」このように、ポーポキと初めてお会いしました。私は猫が大好きだし、ポーポキのいろんな動物のお友達たちも登場しますので、すぐポーポキの本が好きになりました。そして、読めば読むほど...色々な事を考えて、色々なことに気づいたのです。

ポーポキは、人間の言語はできないと思いますが、実は、私の娘ちーちゃんも言葉を話せないのです。だから、ちーちゃんと話している時、アイコンタクト、顔の表情、笑顔、涙、におい、体の温かみ、体の動き等のコミュニケーションツールを使います。たとえば、ちーちゃんは私が喋っている時に、自分の手のひらを私の口にあてて、言葉の振動を感じたり、ちーちゃんなりに言葉を理解しようとしています。

スザンカにゃんとロニー先生とは、たまたま日本語で話すことが出来ますが、でも言葉が出来なくても、ポーポキと同じように、また私の娘ちーちゃんと同じように、いろんなツールを通じて、人々、生き物 といろんなコミュニケーションが出来ますよね。目、耳、表情、におい、タッチ、心のコミュニケーションをすれば、もっとたくさんのいろんなお友達を作れると思います！



こういったいろんなツールのコミュニケーションを大切にしたいですね。

私にとってのポーポキは「楽しい思い出を作ってくれる、いろんな勉強をさせてくれる大事で大好きなお友達」です。

ポーポキ、ポーポキのお友達...これからも、よろしくお願いしますね＊

さらにご協力ください！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック 3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011 年に起こった東日本大震災をきっかけに活動しており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を 2012 年 1 月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動が続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なさいたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「ご一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.com へお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)

<http://popoki.cruisejapan.com>



郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!